

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	緑地維持管理事業		決算書頁	270
視点・政策	02 安全安心・05 守る			
施策	28 豊かな自然環境を次世代へ継承します			
所管部・課	土木部 公園緑地課	作成者	課長 寺田 義一	

2. 事業の目的



緑地の保全を図る

3. コスト情報

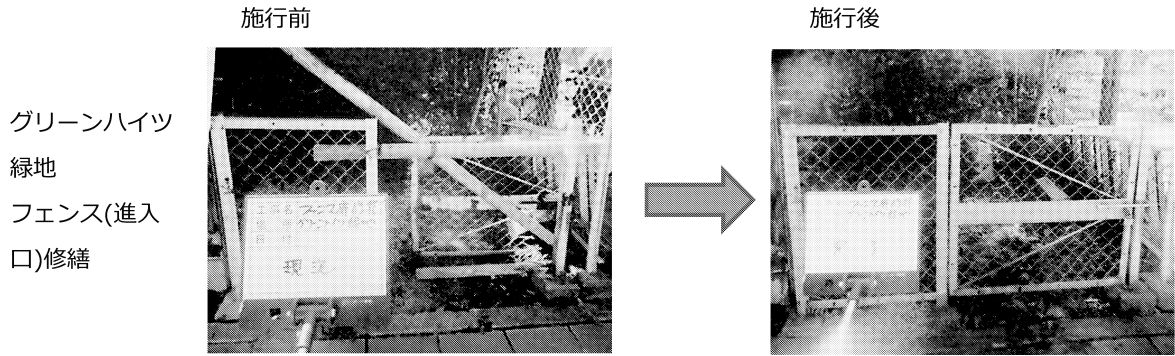
(単位:千円)

事業コスト		R1年度	30年度	比較	財源		R1年度	30年度	比較
内訳	総事業費	36,610	45,628	△ 9,018	一般財源	36,449	43,201	△ 6,752	
	事業費	19,533	28,063	△ 8,530	国県支出金	161	2,427	△ 2,266	
	職員人件費	16,602	17,090	△ 488	地方債				
	減価償却費	475	475		特定財源(その他)				
参考	職員数(人)	2	2						
	再任用職員数(人)								

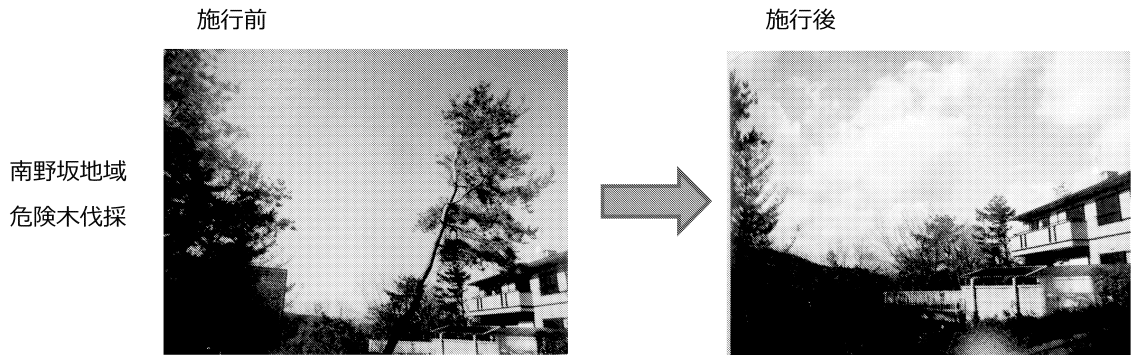
4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	緑地維持管理事業	細事業事業費(千円)	19,533																									
(1) 参画と協働の主な手法(実績)																												
(2) R1年度の取組と成果																												
主な取組	①緑地の除草・防草シート設置(業務委託料)…3,881千円																											
	②緑地フェンス等の修繕(修繕料)…1,834千円																											
	③危険樹木等の緊急伐採(手数料)…6,267千円																											
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(千円)</td> <td>30,674</td> <td>50,874</td> <td>31,798</td> <td>28,064</td> <td>19,533</td> </tr> <tr> <td>市全体緑地箇所数</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>市全体緑地面積(m²)</td> <td>1,261,753</td> <td>1,261,753</td> <td>1,261,753</td> <td>1,261,753</td> <td>1,261,753</td> </tr> </tbody> </table>						H27	H28	H29	H30	R1	事業費(千円)	30,674	50,874	31,798	28,064	19,533	市全体緑地箇所数	103	103	103	103	103	市全体緑地面積(m ²)	1,261,753	1,261,753	1,261,753	1,261,753	1,261,753
	H27	H28	H29	H30	R1																							
事業費(千円)	30,674	50,874	31,798	28,064	19,533																							
市全体緑地箇所数	103	103	103	103	103																							
市全体緑地面積(m ²)	1,261,753	1,261,753	1,261,753	1,261,753	1,261,753																							
<p>①緑地に隣接した地域では、繁茂する草木を除草するだけでなく、長期的な観点で防草シートの設置を実施することで、維持管理コスト削減に努めた。</p>																												
施行前		施行後																										
<p>清和台地域 除草、防草 シート設置</p> 																												

②緑地 フェンス等修繕例



③枯木や傾木等の危険木のうち、宅地や道路等へ倒木の危険性がある樹木については、伐採を実施した。



5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

事業目的に対する自己評価		左記の具体的説明
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		<p>除草作業については、住民等からの要望や依頼により対応しているが、長期的な維持管理コスト縮減・事業の効率性の向上を目的として、必要な箇所には防草シートを設置した。</p> <p>また枯木や傾木等の危険樹木のうち、宅地や道路等へ倒木の危険性がある樹木については、適時、剪定・伐採を実施した。</p>
市民の利便性や事業の効率性が向上した。		
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	
課題と改善について	令和2年度以降における具体的な方向性について	
<p>樹木の巨木化や、除草、剪定及び伐採の要望の増加への対応に苦慮している。</p> <p>現状では、市民からの情報提供に対する個別対応が中心となっているが、今後、管理や整備方針を明確にすることで、計画的な取り組みをする必要がある。</p>	<p>緑地に隣接する住民からの要望については、伐採や防草シートの設置などを推進することにより、今後も長期的な維持管理コストの縮減に努めていく。</p> <p>緑地の管理・整備についての方針を明確化するとともに、樹木の成長に伴う巨木化・過密化が進行していることから、剪定や伐採等の優先順位を定める等の計画的な維持管理方針を定める。</p>	